

マイルストーン開示に係る事業計画の修正について
(平成 22 年 12 月期～平成 24 年 12 月期)

平成 22 年 8 月 6 日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 (コード番号: 4572 NEO)
(URL <http://www.carnabio.com/>)
問合せ先 代表取締役社長 吉野 公一郎
取締役経営管理本部長 相川 法男 TEL: (078) 302 - 7075

本日(平成 22 年 8 月 6 日)公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」を受けまして、今般、マイルストーン開示に係る事業計画を下記のとおり修正いたします。なお、この度の修正におきましては、平成 23 年 12 月期及び平成 24 年 12 月期の業績目標の修正は行っておりません。(表中の修正箇所は_を付して表示しております。)

1. 今後の業績目標 (平成 22 年 12 月期～平成 24 年 12 月期)

【修正前】

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 22 年 12 月期 (計画)	840	<u>△321</u>	<u>△294</u>	<u>△304</u>
平成 23 年 12 月期 (目標)	1,201	41	87	81
平成 24 年 12 月期 (目標)	1,521	195	192	144

【修正後】

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成 22 年 12 月期 (計画)	<u>740</u>	<u>△344</u>	<u>△315</u>	<u>△344</u>
平成 23 年 12 月期 (目標)	1,201	41	87	81
平成 24 年 12 月期 (目標)	1,521	195	192	144

(注) 平成 22 年 12 月期は経営計画にもとづき費用毎に予測金額を積上げた計画値、平成 23 年 12 月期以降は市場環境や企業規模の拡大見通し等を加味した推計値を記載しております。

2. 各事業年度の計画達成のための前提条件に係る事項
マイルストーン開示に係る事業計画の概要

【修正前】

(単位: 百万円)

	売上高		営業利益	
	創薬支援事業	創薬事業	創薬支援事業	創薬事業
平成 22 年 12 月 (計画)	<u>720</u>	120	<u>104</u>	<u>△425</u>
平成 23 年 12 月 (目標)	801	400	192	△151
平成 24 年 12 月 (目標)	921	600	281	△86

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価および投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照下さい。

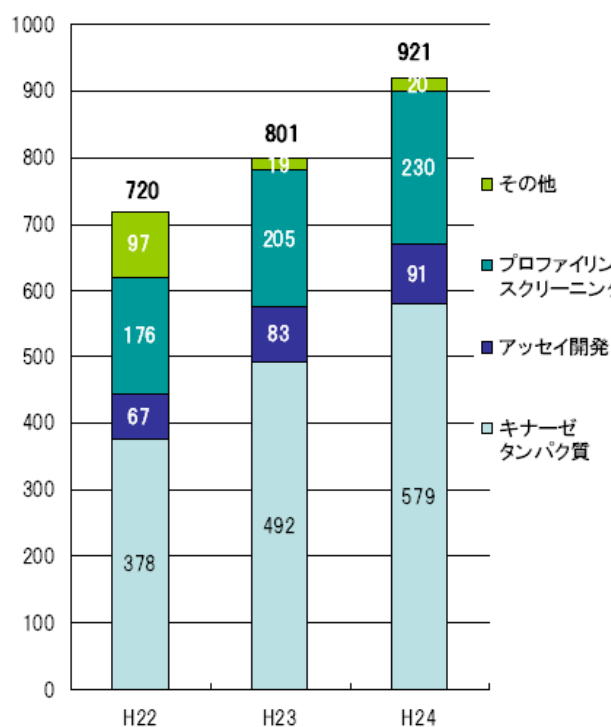
【修正後】

(単位：百万円)

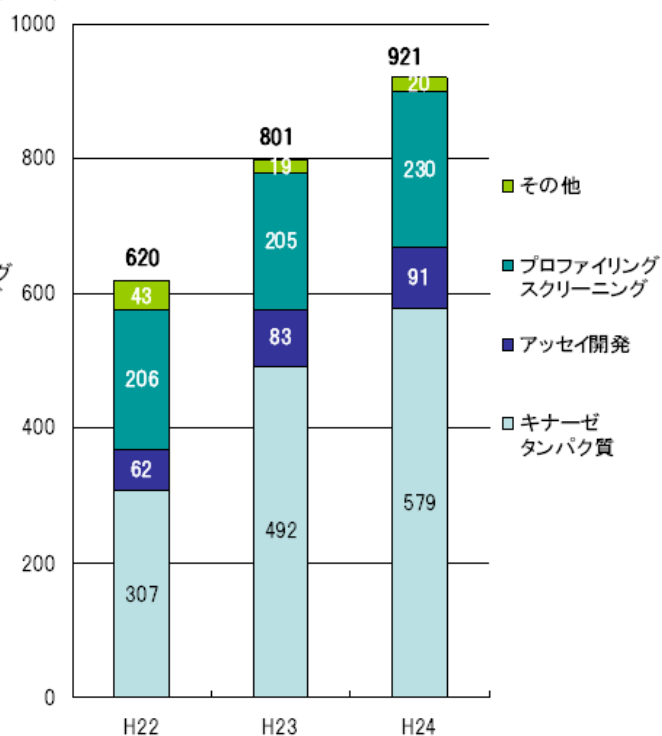
	売上高		営業利益	
	創薬支援事業	創薬事業	創薬支援事業	創薬事業
平成 22 年 12 月 (計画)	620	120	87	△431
平成 23 年 12 月 (目標)	801	400	192	△151
平成 24 年 12 月 (目標)	921	600	281	△86

創薬支援事業の商品別売上計画及び目標並びに地域別売上計画及び目標を以下の通り修正いたします。なお、創薬事業の売上計画は修正していません。

(百万円) 商品別売上計画及び目標(修正前)

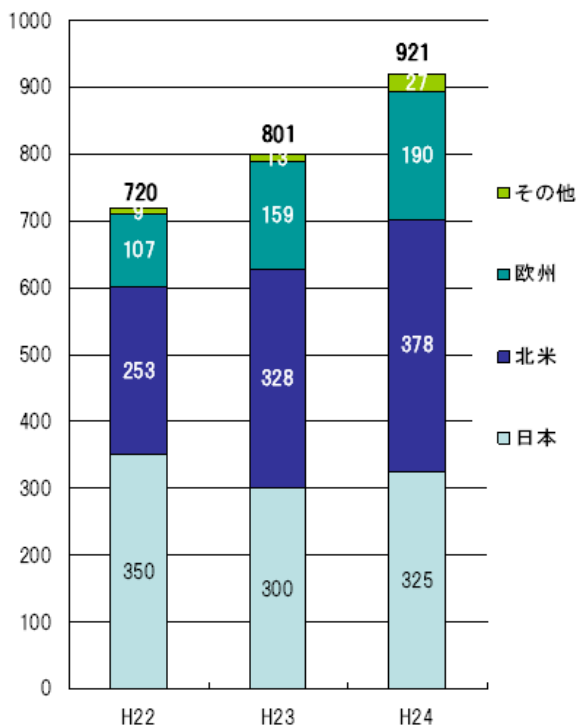


(百万円) 商品別売上計画及び目標(修正後)

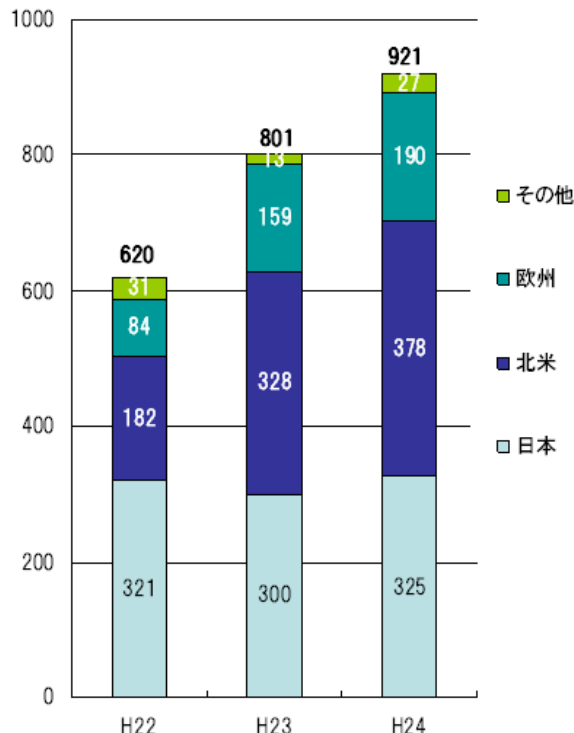


本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価および投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照下さい。

(百万円) 地域別売上計画及び目標(修正前)



(百万円) 地域別売上計画及び目標(修正後)



3. プロジェクト毎の研究開発計画

研究開発費及び設備投資に関する計画

【修正前】

(単位：百万円)

		平成 22 年 12 月期	平成 23 年 12 月期	平成 24 年 12 月期
研究開発費	創薬支援事業	8	6	6
	創薬事業	399	405	539
設備投資		14	10	70

【修正後】

(単位：百万円)

		平成 22 年 12 月期	平成 23 年 12 月期	平成 24 年 12 月期
研究開発費	創薬支援事業	4	6	6
	創薬事業	413	405	539
設備投資		35	10	70

4. 修正の理由 (平成 22 年 12 月期)

①売上計画の修正について

本日別途公表しております「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」の通り、創薬支援事業において、主に「リード探索サービス」の協業先である OSI Pharmaceuticals, Inc. が買収されたことに伴い当該サービスに係る大口受注を得意先製薬企業から獲得できなかったこと、円高・ユーロ安が継続していること等より売上高の減少が見込まれるため、事業計画を修正いたします。なお、詳細は別途、本開示と同日付で公表しております「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

②事業の効率化による販売費及び一般管理費の節減について

当社グループは平成 23 年 12 月期の全社黒字化を目指しております。このため、従前より研究の効

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価および投資に関する決定は、投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照下さい。

率化や諸経費の抑制等の経費節減に努めておりますが、なお一層の事業の効率化による費用削減を進めるべく、平成 22 年 12 月期の販管費を前回事業計画よりも 31 百万円削減できるものと見込んでおります。（「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご参照ください。）

③損益計画の修正について

以上の結果、平成 22 年 12 月期の全社の営業損益及び経常損益は、経費節減努力により販管費を削減する一方で前述の通り売上高が減少するため、前回事業計画に比較して、それぞれ 22 百万円、21 百万円悪化する見込みです。事業別には、創薬支援事業は売上高の減少に伴い営業損益が悪化する見込みです。創薬事業は研究開発費の積み増しに伴い営業損益が悪化する見込みです。また、創薬事業の最新鋭設備を導入することに伴い減損損失として特別損失が発生するため、当期純損益は 40 百万円悪化する見込みです。なお、詳細は本開示と同日付で公表しております「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上

本開示資料は、投資者に対する情報提供を目的として将来の事業計画等を記載したものであって、投資勧誘を目的としたものではありません。当社の事業計画に対する評価および投資に関する決定は投資者ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

また、当社は、事業計画に関する業績目標その他の事項の実現・達成等に関しその蓋然性を如何なる意味においても保証するものではなく、その実現・達成等に関して一切責任を負うものではありません。

本開示資料に記載されている将来に係わる一切の記述内容（事業計画に関する業績目標も含まれますがそれに限られません。）は、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断に基づくものであり、将来の経済環境の変化等を含む事業計画の前提条件に変動が生じた場合その他様々な要因の変化により、実際の事業の状態・業績等は影響を受けることが予想され、本開示資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。